

取扱説明書

DVDプレーヤー内蔵 16インチ/24インチ/32インチ
地上デジタル ハイビジョン液晶テレビ



16型



24型・32型

※取扱説明書内の製品画像はイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。



この度は、弊社の製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

この取扱説明書は大切に保管し、必要なときに再度お読みください。

目次



安全上のご注意

■異常や故障のとき	1
■ご使用になるとき	2
■設置されるとき	3
■電源(コード、プラグ)について	4

使用上のご注意

■取扱いに関すること	5
■液晶パネルについて	5
■置き場所に関すること	5
■お手入れに関すること	5
■結露(露付き)に関すること	5
■廃棄について	5
■免責事項について	5
■その他	5
■録画に関すること	6

付属品

.....	7
-------	---

各部の名称と機能

■正面	8
■左側面/右側面	9
■上部/下部(本体ボタン)	10
■下部端子	11

スタンドの取り付け・取り外し

.....	12~13
-------	-------

各部の名称と機能-リモコン

.....	14
-------	----

リモコンの使い方

.....	15
-------	----

テレビを見るまでの準備

.....	16~17
-------	-------

チャンネルの初期設定

.....	18~19
-------	-------

テレビを視聴する

.....	20
-------	----

基本的な使い方

.....	20~21
-------	-------

電子番組ガイド(EPG)を使う

.....	22
-------	----

録画機能を使う

.....	23
-------	----

番組録画(予約)機能について

.....	23
-------	----

録画用外部メモリーの準備

.....	24~25
-------	-------

番組録画に関する各機能を使う

.....	26~28
-------	-------

目次



DVD機能

■ 準備	29
■ 再生	30
■ 再生の停止	30
■ 再生中の画面表示	30
■ 早送・早戻し再生	30
■ スロー再生	30
■ スキップ	30
■ 頭出し再生	30
■ 一時停止	30
■ 音声言語の切換	31
■ メニュー操作	31
■ リピート再生	31

DVD機能(システム設定)

■ 設定メニュー	32
■ 設定方法	32
■ 一般設定	32
■ 音声設定	33
■ システム設定	33

ビデオやDVDとの接続

■ HDMIケーブルで接続する場合	34
■ AVケーブルで接続する場合	34

外部機器と接続する

故障かな?...と思ったら

■ 地上デジタル放送関係	36~37
■ DVDディスク/プレーヤー	38

製品仕様

	39~41
--	-------

壁掛けでのご使用

	42~43
--	-------

ご使用のまえにこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる場所に必ず保管してください。

表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。



このような表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、上記の表示で区分し、説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。（上記は表示の一例です。）



警告

異常や故障のとき



プラグを抜く

■ 万一、本体から煙が出ていたり、変においが出るときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、サービスセンターにご連絡ください。本機は、電源プラグをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。



プラグを抜く

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターにご依頼ください。本機は、電源プラグをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。



プラグを抜く

■ 内部に水や異物が入ったら、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターにご依頼ください。本機は、電源プラグをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。



プラグを抜く

■ 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、電源コードが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サービスセンターにご依頼ください。本機は、電源プラグをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。

警告

ご使用になるとき



分解禁止

- 修理・改造・分解はしないこと。
火災・感電の原因となります。
修理・点検はサービスセンターに
ご依頼ください。



水ぬれ禁止

- 水にぬらしたりしないこと。
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は
特にご注意ください。



禁止

- 内部に異物を入れないこと。
クリップ・ヘアピンなどの金属類や
紙などの燃えやすいものが内部に
入った場合、火災・感電の原因になり
ます。特にお子様のいるご家庭では
ご注意ください。



禁止

- 雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと。
感電の原因となります。

注意

ご使用になるとき



禁止

- ヘッドホンをご使用になるときは、
音量を上げすぎないこと。
耳を刺激するような大きな音量で
聞くと、聴力に悪い影響を与えること
があります。



禁止

- 液晶パネルが破損し、液体が漏れてし
まった場合は、液体を吸い込んだり、
素手で触れたりしないこと。中毒を起
こすおそれがあります。万一口や目に
入ってしまった場合は、水で洗い流し、
医師の診察を受けてください。
手や服についてしまった場合は、
アルコールなどでふき取り、水洗いし
てください。



指示

- 電源を入れる前には音量を最小に
すること。電源を入れる前には、接続
しているアンプなどの音量を最小に
してください。突然大きな音が出て
聴力障害などの原因になることが
あります。



禁止

- 液晶パネルに衝撃を与えないこと。
(物を当てたり、先の尖ったもので
突いたりしない)
液晶パネルが割れる恐れがあります。



指示

- 通風孔に付着したホコリやゴミをこまめ
に取り除くこと。
内部や通風孔にホコリをためたまま使用
すると、火災や故障の原因となること
があります。



指示

- 本体内部に各種タバコなどの煙、油煙
や蒸気が入り込まないように設置、使
用してください。
火災や故障の原因となる場合があります。



警告

設置されるとき



禁止

- ひざの上などで使用しないこと。
本機は多少温度が上がります。
ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。
自覚症状の伴わない、低温やけどになる場合もございますので、特に肌の弱い方はご注意ください。



禁止

- 上に物を置かないこと。
 - 金属類や、花瓶・コップ・化粧品等の液体が内部に入った場合、火災・感電等の原因になります。
 - 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因になります。



禁止

- 各種タバコなどの煙、油煙や蒸気が入りやすい場所に置かないこと。
火災や故障の原因となることがあります。



注意



禁止

- 風通しの悪い場所に置かないこと。
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
 - じゅうたんや布団の上に置かないでください。
 - テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
 - 押入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
 - 壁に押し付けしないでください。



禁止

- 各種タバコなどの煙・湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと加湿器・調理台のそばやほこりの多い場所、喫煙場所などに置くと、火災、感電、故障の原因となる場合があります。



禁止

- 温度の高い場所に置かないこと。
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。
また、破損・その他部品の劣化の原因となります。



警告

電源（コード、プラグ）について



注意

- 電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



禁止

- 電源プラグを分解・改造・修理しないこと。火災・感電の原因となります。



禁止

- 電源コード
 - 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
 - 引っ張ったり、重い物を乗せたり、はさんだりしないこと。
 - 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。



禁止

- 各種タバコの煙・湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。



注意



禁止

- 通電中の電源コードに布団を掛けたり、暖房機器の近くやホットカーペットの上に置かないこと。火災・故障の原因になります。



禁止

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと。コードを引っ張って抜くと、コードが傷つき感電の原因となりますので、プラグを持って抜き差ししてください。



禁止

- 電源プラグはコンセントの奥まで、確実に差し込むこと。奥まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながらないこと。火災・故障の原因となります。



プラグを抜く

- 旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグはコンセントから抜くこと。万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



禁止

- 遮断デバイスは容易に操作できるようになっていなければなりません。

使用上のご注意

取扱いに関すること

- 液晶画面に衝撃を与えないでください。
液晶が破損し、故障の原因になります。
- 移動させるときや、引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷つかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないときは、必ず電源スイッチを切っておいてください。
- 長時間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて使用してください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルでは一定時間同じ画面を表示し続けると、残像(焼付け)が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが画素かけや常時点灯する画素がありますので予め、ご了承ください。

置き場所に関すること

- 水平な場所に設置してください。
ぐらぐらする机や傾いているところ、走行中の車内など不安定な場所で使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、湿度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 本体内部に各種タバコなどの煙、油煙や蒸気が入りやすい場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万が一このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

- 本体や操作パネル部分の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因になります。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 液晶画面についた汚れなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

結露(露付き)に関すること

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

- 例えば、よく冷えたビールをコップにつくと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機の内部部品に水滴がつくことがあります。これを結露(露付き)といいます。
- 結露はこんなときにおきます。
 - 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
 - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき。
 - 夏期に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高い所に移動したとき。
 - 湯気が立ち込めるなど、湿気の多い部屋に置いたとき。

廃棄について

- 小型家電リサイクル法では、市町村及び認定事業者が使用済み小型家電の回収を行うことになっており、回収方法はお住まいの地域によりそれぞれ異なります。
回収方法は、小型家電リサイクル回収ポータルサイトにてご確認ください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下の使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能誤動作などから生じた損害(接続したテレビや外部録画メディアなど故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 故障や修理の時に本機へ記憶された利用者の登録情報やポイントなどの一部あるいは全てが変化、消失した場合の損害や不利益について、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 一般家庭用以外(例えば、業務用など)にご使用された場合の故障及び損傷は保証の対象外となります。
- ご購入日、ご購入店が不明、保証書の記載が修正されている場合は保証の対象外となります。

その他

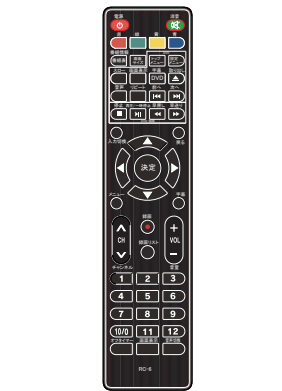
- 本取扱説明書に記載された商品の仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書内容については万全を期して作成しておりますが、万が一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、サービスセンターまでご連絡ください。

使用上のご注意

録画に関すること

- 本機へ録画機器を接続する前に、前もって録画を試し正常に録画できることを確認してください。
- 本機へ接続された録画機器に録画されたコンテンツの長期保存は保証できません。録画機器は一時的な保存や再生用として使用してください。
- 全てのコンテンツが著作権法の対象となります。本機では録画した番組の追加コピーができません。
- コンテンツ保有者またはサービスプロバイダーから認可(許可)されていない方法で録画番組を使用することは固く禁止されています。
- 下記の行為も著作権法違反となります。
 - ・ 個人のホームページへの録画番組の投稿
 - ・ メッセンジャーサービスまたは電子メールによる、他人への録画番組の送信
 - ・ 利益目的による多人数へのディスクまたはビデオテープの形態で録画された番組の貸与。
- 著作権法違反におけるあらゆる損害について当社は補償できないことをご承知ください。

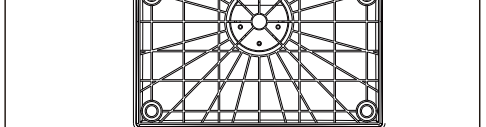
付属品



保証書			
型番			
製造番号			
権利確 保証種類			
お客様 ご住所	ご芳名	〒	様
	TEL		
販売店	店名		印
	住所	TEL	

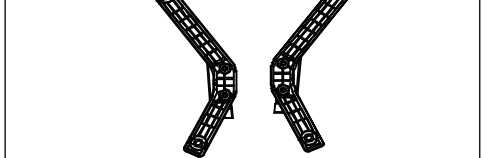
●本書は買い主より引当金と保証料を納入された後、引当金と保証料の合計額を内務省消費銀行に充てられたものである。

●所定記入欄が空欄のままで、本書は有効となる。記入の必要と認められた場合は、上の子の住所を記入し、印を捺す。

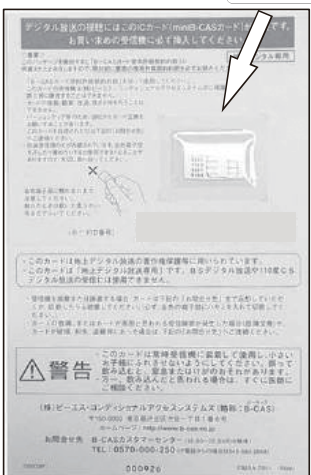


$\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4}$ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{1}{16}$ $\frac{1}{16} \times \frac{1}{16} = \frac{1}{256}$ $\frac{1}{256} \times \frac{1}{256} = \frac{1}{65,536}$ $\frac{1}{65,536} \times \frac{1}{65,536} = \frac{1}{4,294,967,296}$ $\frac{1}{4,294,967,296} \times \frac{1}{4,294,967,296} = \frac{1}{18,446,744,073,709,551,616}$	$\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4}$ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{1}{16}$ $\frac{1}{16} \times \frac{1}{16} = \frac{1}{256}$ $\frac{1}{256} \times \frac{1}{256} = \frac{1}{65,536}$ $\frac{1}{65,536} \times \frac{1}{65,536} = \frac{1}{4,294,967,296}$ $\frac{1}{4,294,967,296} \times \frac{1}{4,294,967,296} = \frac{1}{18,446,744,073,709,551,616}$
--	--

Downloaded from <http://www.cambridge.org/core>. University of Cambridge, on 02 Jun 2018 at 11:05:00, subject to the Cambridge Core terms of use, available at <http://www.cambridge.org/core/terms>. <https://doi.org/10.1017/9781315336435.008>



miniB-CA
地上型システム



- ## 液晶パネルについて

● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素かけや常時点灯する

- 液晶パネルでは、一定時間同じ画面を表示し続けると、残像（焼付け）が発生する場合がございますので、ご注意ください。

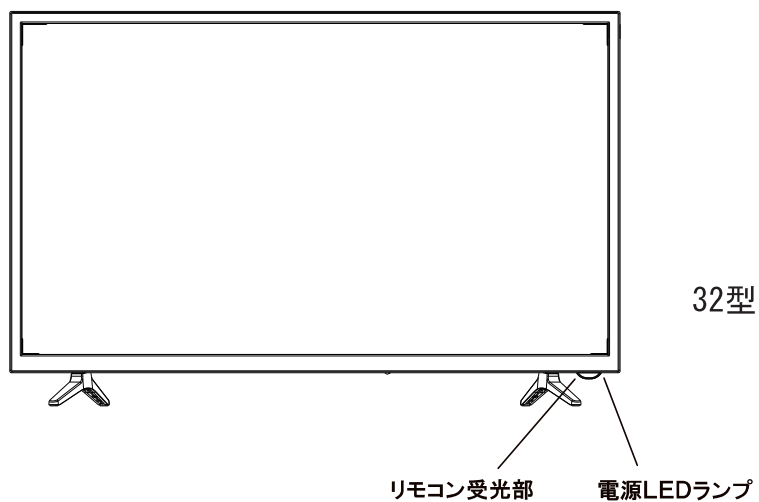
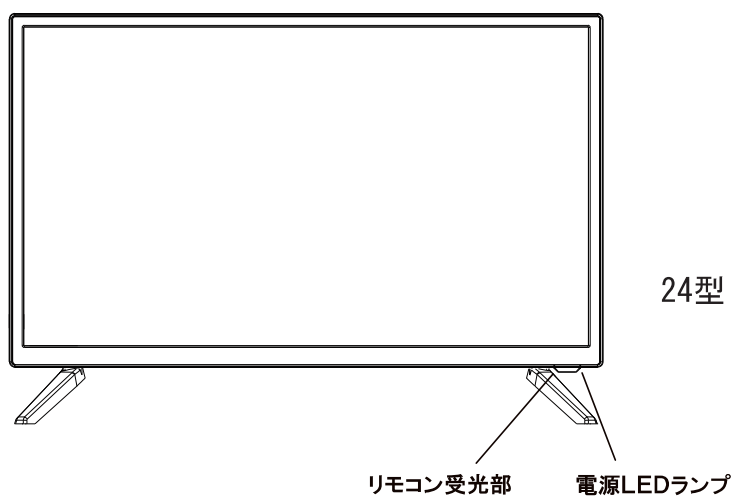
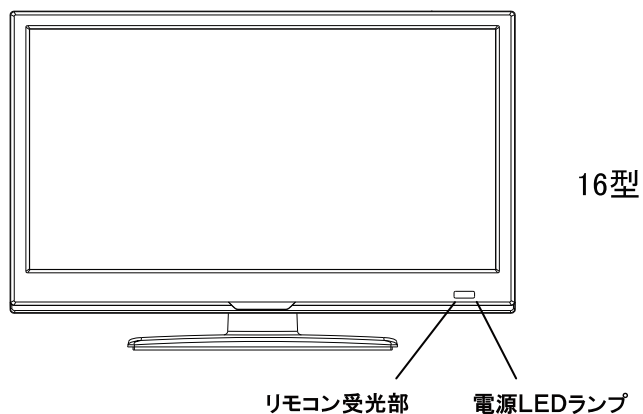
各部の名称と機能 - 本体 1

正面

※ 製品に対応したイメージ画像にてご確認ください。

■ 電源LEDランプの状態

電源オン: 緑色に点灯
電源オフ: 赤色に点灯
(待機)

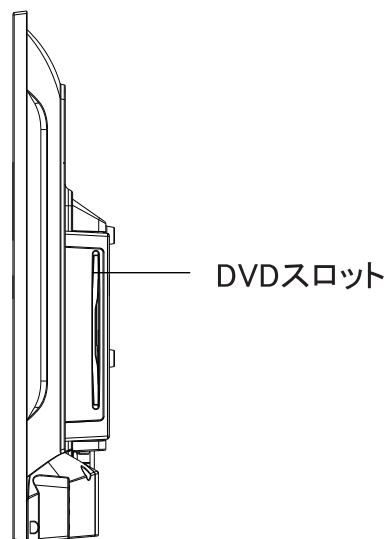


各部の名称と機能 - 本体 2

左側面



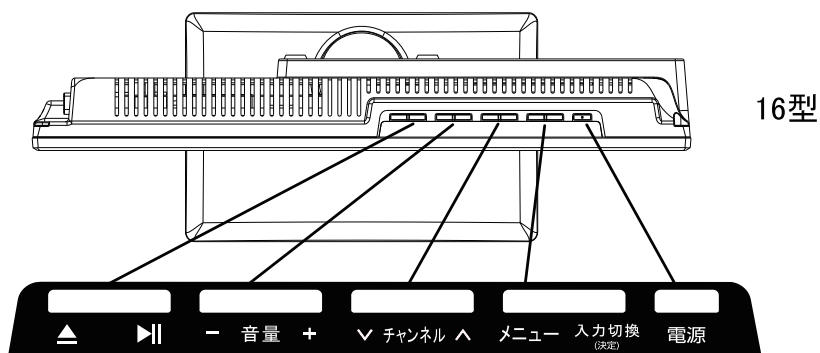
右側面



16型・24型・32型

上部(本体ボタン)

※ 製品に対応したイメージ画像にてご確認ください。

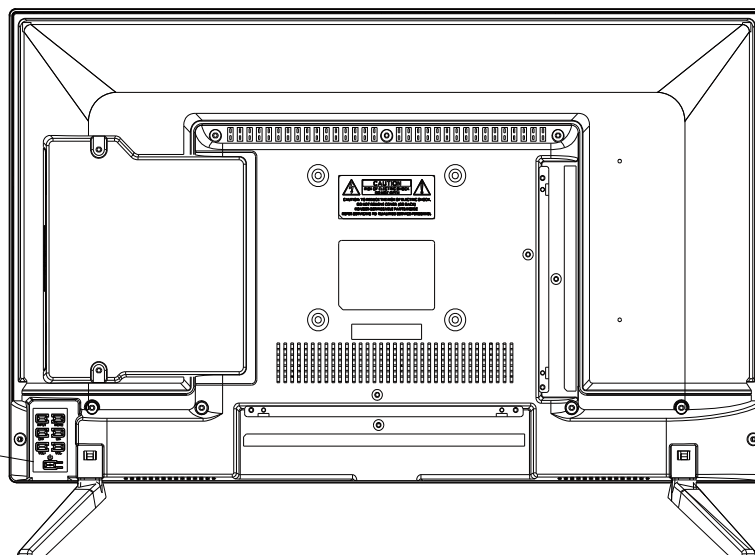
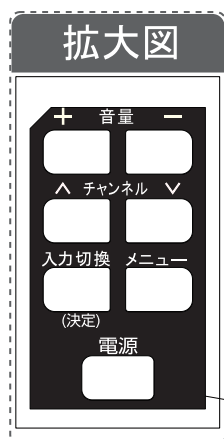


- 取り出し ディスクの 取り出しをします。
- 再生/一時停止 DVDの再生、一時停止ができます。
- -音量+ 音量を調節します。
- チャンネル チャンネルを切換ええます。
- メニュー画面を表示します。
- 入力の切換えと決定をします。
- テレビの電源を入/待機に切換ええます。

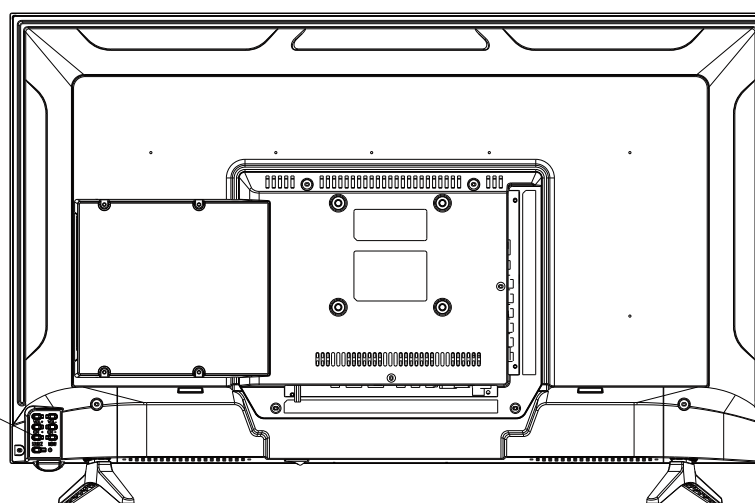
各部の名称と機能 - 本体 3

背面(本体ボタン)

※ 製品に対応したイメージ画像にてご確認ください。



24型

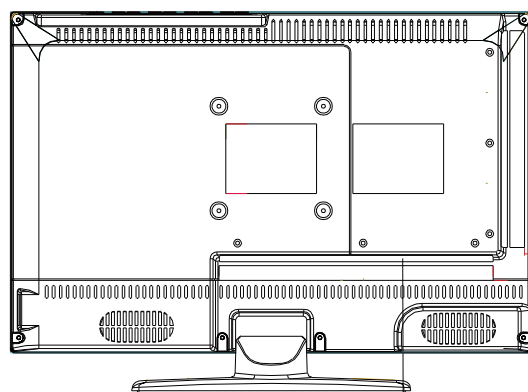


32型

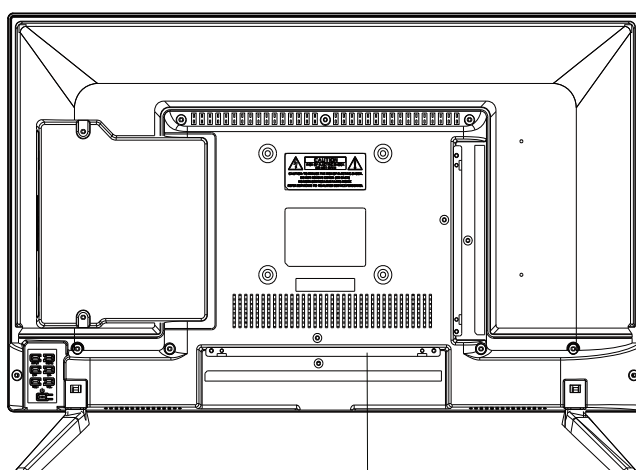
各部の名称と機能 - 本体 4

下部端子

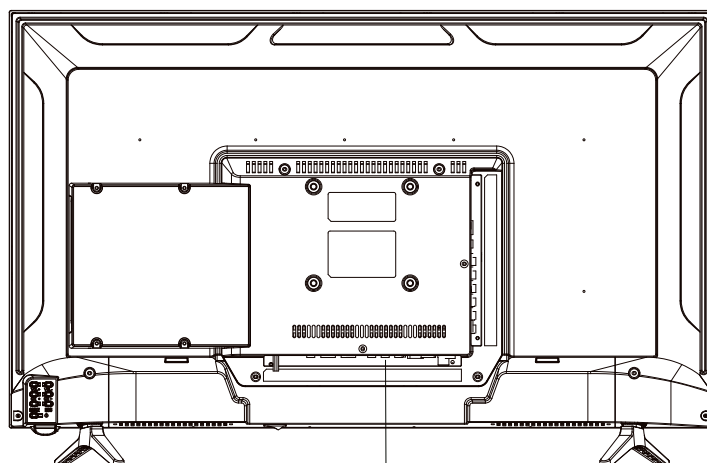
※ 製品に対応したイメージ画像にてご確認ください。



16型



24型



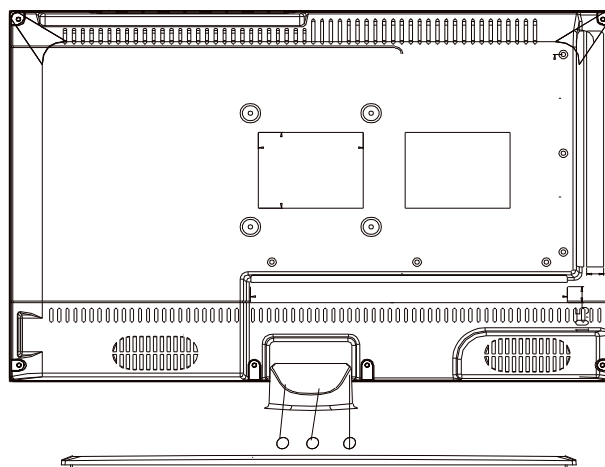
32型



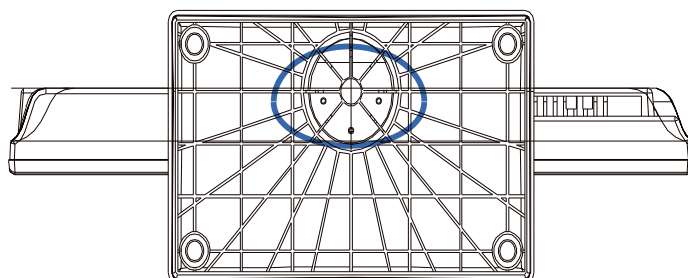
スタンドの取付方法（スタンドA）

※ 製品に対応したイメージ画像にてご確認ください。

- ① 組み立ての際は、ネジとスタンドを取り出してください。
テーブルなど台の上に柔らかい布などを敷き、その上に本機を寝かせてください。



- ② 下部のスタンド取り付け部分をスタンドに差し込み、ドライバーを使用してネジで固定してください。
取り付け後、ぐらつきがないか確かめてください。

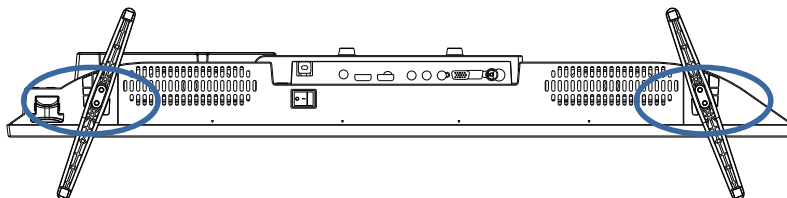


ネジの必要数は3本です。

スタンドの取り付け・取り外し

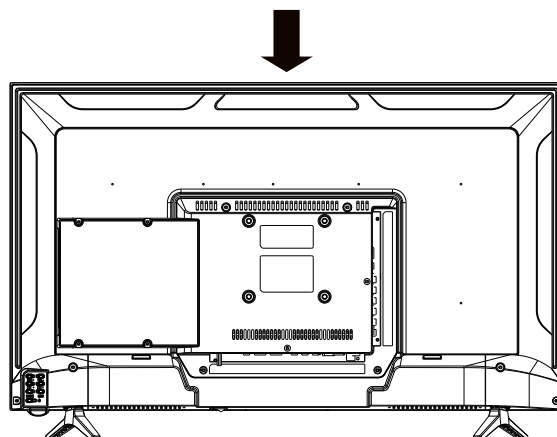
※ 製品に対応したイメージ画像にてご確認ください。

- ① 組み立ての際は、台座を取り出してください。
テーブルなど台の上に柔らかい布などを敷き、その上に本機を寝かしてください。



- ② 本体へのスタンドの取り付けは左右両用です。32型のスタンドと本体の向きを合わせて、ドライバーを使用してネジで固定してください。固定後ぐらつきがないか確認してください。

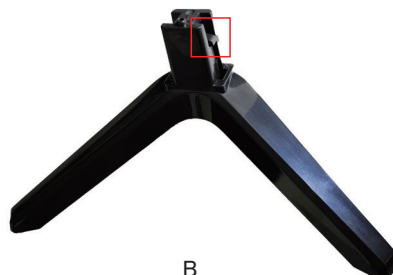
※ネジ(32型用)の必要数は4本です。※24型用ネジは使用不可。



- ③ 24型のスタンドと上図の表示方向のように、本体の取り付け位置と合わせて、“カチッと”音が聞こえるまで差し込んでください。固定後ぐらつきがないか確かめてください。
- ④ スタンドを取り外す場合は、直径5mmのかたい物体(例えばドライバーの先端部)を使い、A図表示の穴に差し込んで、B図表示のスタンドのツメを押しながら、スタンドを取り外します。

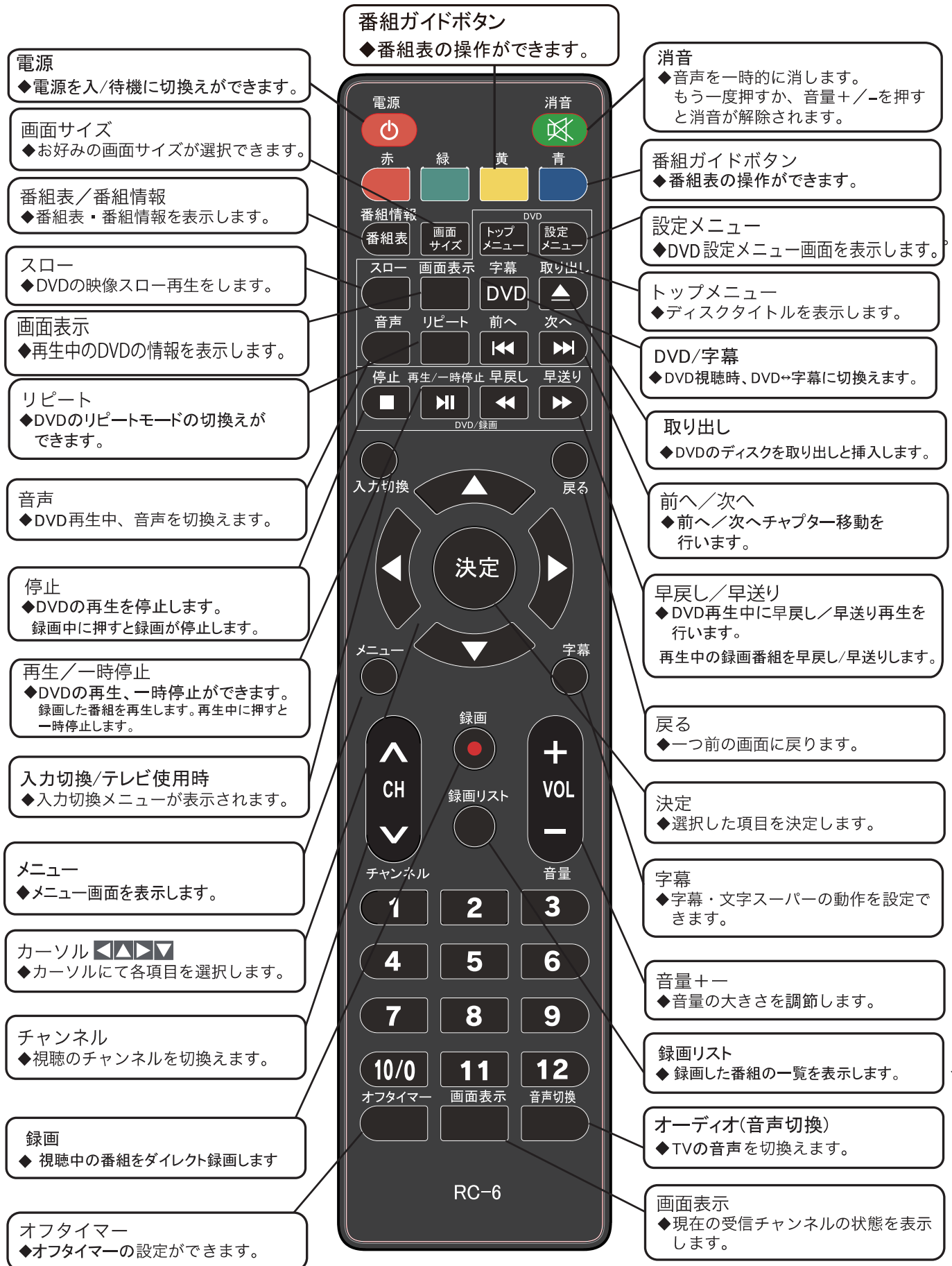


A



B

各部の名称と機能-リモコン



リモコンの使い方

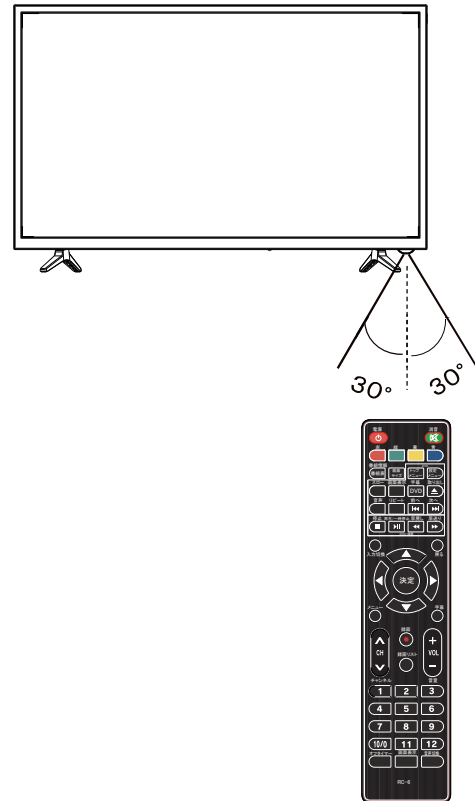
リモコンの取扱い方

- リモコンは本体受光部に向けて操作してください。
- 水にぬらしたり、温度の高いところに置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコン送信部には衝撃を与えないでください。

正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが誤動作したり、動かない場合があります。

- 本体とリモコンの間に、障害物があるとき。
- リモコン受光部に直射日光等の強い光があたっているとき。
- 電池容量切れ
※乾電池電極部分と、リモコン電極端子が接触不良している場合があります。
電池を入れなおしてみてください。
- ※ 付属の電池は動作確認用です。
早めに新しい電池との交換をお勧めいたします。



乾電池の取扱い注意

- 電池の液がもれたときは、絶対に素手で触らないでください。
- 極性表示＋を間違えないでください。
- 単4形乾電池を使用してください。
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火や水の中に投入しないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使わないでください。
- 長時間使わないときは、乾電池を取り出してください。

B-CASカードについて

- 同梱の B-CAS(ビーキャス)カードは、放送の受信に必要です。
テレビに入れたまま、ご使用ください。
- 万が一、破損、汚損があった場合や、紛失、盗難にあった場合は、下記へご連絡ください。
(株)ビーエス コンディショナルアクセスシステム カスタマーセンター TEL:0570-000-250
- 折り曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。IC 部には手を触れないでください。

テレビを見るまでの準備-1

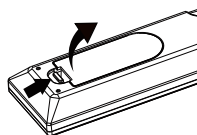
1

付属品をご確認ください。

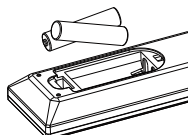
2

リモコンに乾電池を入れる

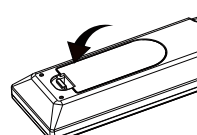
1.電池蓋を開ける



2. $\oplus$ $\ominus$ の表示どおりに
入れる

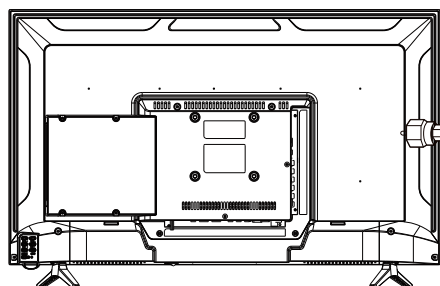


3.電池蓋を元どおりに
閉める



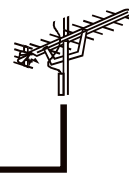
3

アンテナを接続する



同軸ケーブル75Ω (別売)

壁面アンテナ端子



本体左側面のアンテナ入力端子に接続する

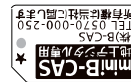
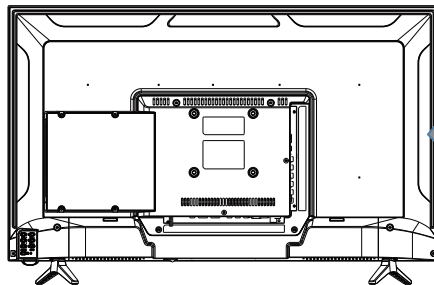
アンテナ接続の際の注意事項

- 必ず、同軸ケーブルを使って接続してください。
- F型コネクター(ねじ式)のアンテナ線をおすすめします。本体のアンテナ端子との接触が悪いと、受信できない場合があります。
- 現在お使いのUHFアンテナを使用できる場合があります。ただし、取替えや再調整が必要になることもあります。
- UHFアンテナの周りに樹木があったり、その他の障害物がある場合、受信できない場合があります。
- 接続図は一般的な例です。受信の環境によっては、分配器やブースター等の機器が必要になる場合があります。

テレビを見るまでの準備-2

4

ミニB-CASカードを“カチッ”としっかり引っかかるまで装着する。



※切込みを下にして、挿入してください。

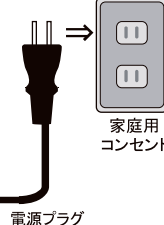
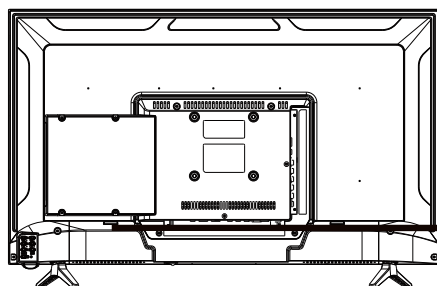
B-CASカードは著作権保護のためのコピー制御もされています。

ミニB-CASカード脱着時の注意

- 脱着の際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 絵表示が見える面を本機後面側にして、カード表面の向きを挿入口にあわせ、ゆっくりと差し込んでください。
- 頻繁な抜き差しはおやめください。故障の原因になります。

5

電源プラグをコンセントに差し込む



警告

表示された電源電圧以外では使用しないでください。

本体か、リモコンの電源ボタンを押し、電源を入れる

本体前面の電源LEDランプが赤色→緑色に点灯します。

6

デジタル放送の受信設定をする

地上デジタル放送の受信設定参照

※注意 接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

チャンネルの初期設定

機能によってテレビに切り替え、画面に＜インストールガイド表示＞または＜チャンネルサーチの開始＞となります。以下を参照し、本機へのチャンネルの登録を完了させてください。

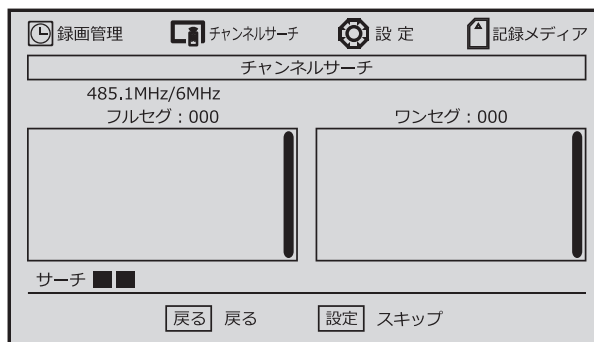


●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。

- ①電源プラグが正しく接続されていること
- ②アンテナ線が正しく接続されていること
- ③miniB-CASカードが正しく挿入されていること

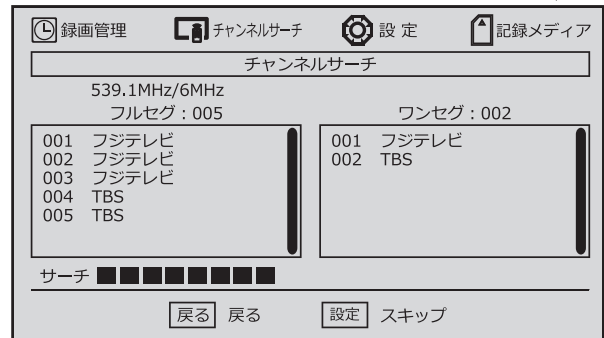


＊電源を入れるとシステム起動中（左図）の表示後、＜インストールガイドの表示＞または＜チャンネル自動検索の開始＞となります。（※機種により異なる）
＜インストールガイドの表示＞の場合：リモコン「決定」を押してください。
＜チャンネル自動検索の開始＞の場合：スキャン終了までお待ちください。

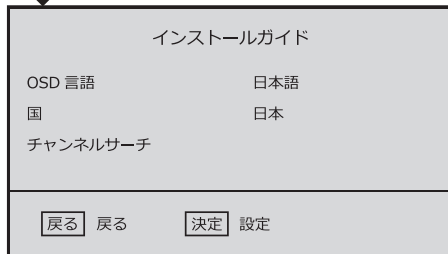


チャンネル受信成功／登録中

※本機と接続したアンテナが電波を受信すると、下図のようにフルセグ／ワンセグの項目にチャンネルが追加登録されていきます。



番組登録が失敗した場合



※設定電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、インストールガイドに戻ります。以下をご確認の上、リモコンの決定ボタンを押して再度チャンネルスキャンをおこなってください。

- ＊本機に正しく B-CAS カードが挿入されていますか？
- ＊本機と接続しているアンテナが地デジ放送の電波を受信できていますか？
(アンテナの設置位置などをご確認ください)

本機に番組が登録された場合



※チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。電波の受信レベルに応じてフルセグ放送およびワンセグ放送のいずれかが表示されます。

チャンネルの初期設定 (続き)

＜設定しても放送が正しく映らない場合＞

初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されます。

「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下を参照にご確認ください。

デジタル放送の受信方法の確認

＜放送チャンネルが登録されない ...＞

■屋外アンテナの場合：

アンテナが地上デジタル放送受信対応の UHF アンテナ、または VHF/UHF 混合アンテナであるかどうかをご確認ください。
(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。)

■ケーブルテレビの場合：

地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送 (CATV) やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、バススルー方式での地デジ放送受信に対応しているか、ご契約の CATV 会社や共聴システムの管理者にご確認ください。

地デジ受信方法の確認

本機にはフルセグ放送とワンセグ放送を自動的に切り換える機能があります。特にフルセグ放送の受信レベルが低い場所に設置した場合、フルセグ受信とワンセグ受信に頻繁に切り換わり、その都度画面がフリーズなどを起こす場合があります。このような場合は設定メニューから受信切替をおこない、ワンセグ受信に固定することで解消されます。

*操作方法： リモコンの「メニュー」でメニューを表示 → 「◀▶」で「設定」に移動
→ 「▲▼」で受信切替に移動 → 「◀▶」でワンセグを選択
→ 「メニュー」または「戻る」で番組視聴に戻る → 変更した設定が反映されます



ワンセグ放送は小型携帯端末 (5inch 前後) 向けの伝送データ量の少ない放送波の為、本機でワンセグ放送を視聴した場合、フルセグ放送と比べると画質が粗くなります。故障ではございませんので予めご了承ください。



注意

●アンテナの受信が悪いと「テレビ視聴ができない」「画面が乱れる」「音声しか出ない」など様々な症状が起きる場合があります。安定して地デジ番組をお楽しみいただくためには、十分な受信レベルを確保できる場所へアンテナの設置・方向の調整を行ってください。

※屋外アンテナの設置位置や方向などの調整は、高所での作業となる為大変危険です。
アンテナ設置業者や電気店などへご相談いただくことをお勧めします。

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信／視聴はできません。

※建造物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、など電波の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。

※デジタル放送では受信レベルが下がると、映像が止まる、ブロックノイズが出る、音声しか出ない、音声が途切れる、などの症状が起こる場合があります。また、移動中に受信している場合は、静止中の受信に比べ受信範囲が狭くなるため、正しく受信出来ない場合があります。

※次の放送は受信／視聴できません。＜地上アナログ放送＞＜データ放送＞＜緊急警報放送＞

※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。

※その他の症状が起きた場合は、本書 P30～31「故障かな?と思ったら」をご参照ください。

テレビを視聴する

以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために本機の基本的な使い方やデジタル放送の機能などについての説明などをご案内いたします。

基本的な使い方 20~21 電子番組ガイド（EPG）を使う 22

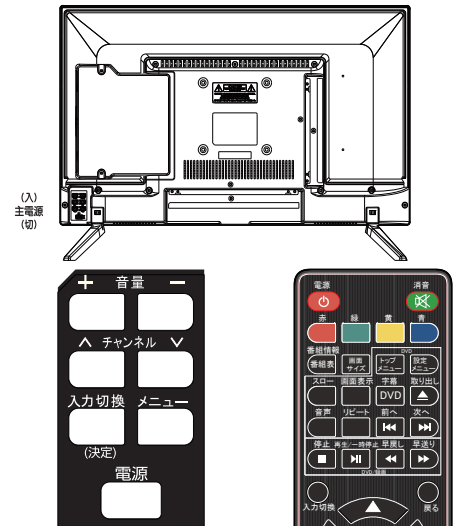
基本的な使い方

本体の主電源を入れる／切る

- 本体に電源ボタンが設けられておらず、電源の接続や切断によって、直接電源のオン/オフを行います。

リモコンで電源を入れる／切る（待機状態）

- 本体の主電源を ON にした状態でリモコン「電源」ボタンを押します。
- ※電源ランプ表示：電源 ON 状態…電源ランプ<緑>
電源 OFF（または待機）状態…電源ランプ<赤灯>



地デジ放送を選ぶ

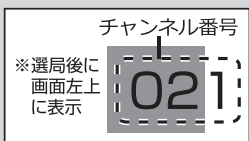
- 外部機器から地デジ放送に切り換える時は、リモコンまたは本体の「入力切換」を押し入力ソース「テレビ」を選択後、リモコンの「決定」ボタンを押します。

視聴チャンネルを選局する

- リモコンまたは本体の「CH+(-)」ボタンを押すとチャンネルサーチで登録されたチャンネル主番号 * の順に、チャンネルが切り換わります。
- *本書ではチャンネル番号(3桁)の真ん中の番号を「主番号」と呼びます(例: 011→「1」、081→「8」など)
- 番組視聴中にリモコンの「決定」ボタンを押すとチャンネルサーチ時に登録されたすべてのチャンネルのリストが表示されます。(チャンネルリスト表示)
- 「▲」「▼」で視聴したいチャンネルを選択し「決定」を押すと選択した番組に切り換わります。
- リモコンの数字ボタンで選局の際は、主番号のあとに「決定」を押します。

<操作例>

- チャンネル番号 [021] を選局する時はリモコンの数字ボタン「2」のあとに「決定」を押します。
- ※チャンネル番号 [023] を選局する時は、「決定」でチャンネルリスト表示後、「▲」「▼」で [023] を選択します。



(ご注意) チャンネルサーチで本機に登録されていない放送は視聴できません。登録漏れなどがあった場合は本書P30「アンテナの接続」をご確認の上、正しく接続してから再度チャンネルサーチを行ってください。

※チャンネルリスト表示時に「◀」「▶」でフルセグ/ワンセグ放送の選択ができます。

音量を調節する／消す（消音機能）

- 調節する：リモコンまたは本体の「音量+」「音量-」ボタンで音量を調節します。
 - 消音する：リモコンの「消音」ボタンを押すと消音状態に切り換わります。
- 消音状態で同ボタンを押すと消音状態が解除されて音が出ます。

お知らせ

リモコンや本体のボタン操作などを立て続けにおこなうと、内部システム起動用のCPUやメモリーが誤作動したりフリーズする場合があります。この場合は一度、直接電源を切断して操作メモリーをリセットすることで改善する場合があります。(改善しない場合は、リモコンのメニューから<工場出荷時設定>に移動後、本体システムを工場出荷状態に戻してください)

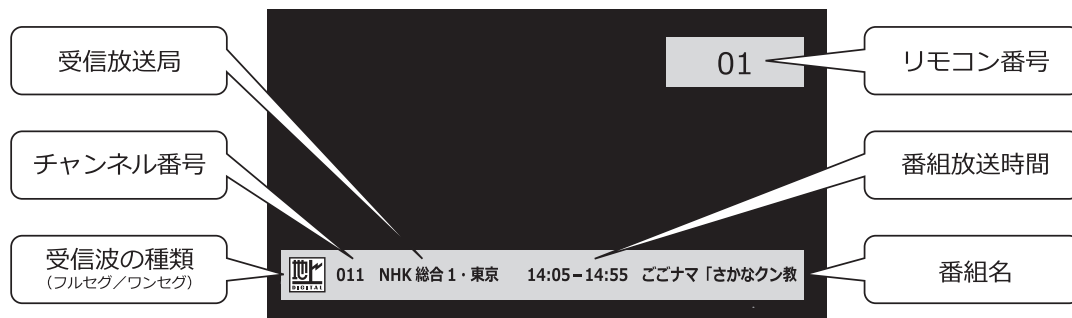
基本的な使い方 (続き)

字幕設定の切り換え／音声設定の切り換え

- 字幕設定の切り換え：リモコンの「字幕」ボタンを押すと字幕オン／字幕オフに切り換わります。
 - 音声設定の切り換え：リモコンの「音声」ボタンを押すと音声切換メニューが表示されます。
「▲▼◀▶」で音声／主音声／副音声を選択後、「決定」を押して選択を確定します。
選択確定後に「戻る」を押すと番組視聴画面に戻ります。
- ※字幕設定／音声設定は視聴中の番組により選択や操作ができないことや、設定が反映されないことがあります。

情報表示

- リモコンまたは本体のボタンでチャンネルを変更すると、現在視聴している番組の簡易情報を表示します。
- ※簡易情報はしばらくすると消えます。



電子番組ガイド (EPG) を使う

- テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと現在視聴している放送局の番組ガイドが表示されます。
- ※番組ガイドに関する詳細は P22「電子番組ガイド(EPG)を使う」をご参照ください。

「録画」に関する機能を使用する

- 市販の USB メモリー等を別途ご用意の上、録画専用スロットに正しく挿入することで、録画機能を使用することができます。
- ※録画・予約に関する詳細は P23「録画機能を使う」をご参照ください。

本体設定メニューを表示する

- テレビ番組を視聴中にリモコンの「メニュー」ボタンを押すとテレビ用設定メニューが表示されます。
- メニュー表示後、「▲」「▼」「◀」「▶」「決定」「戻る」ボタンを主に使用して様々な設定をおこないます。

電子番組ガイド (EPG) を使う

番組ガイド (EPG) の見方

■ テレビ番組を視聴中にリモコンの番組表「EPG」ボタンを押すと現在視聴している放送局の番組ガイドが表示されます。



● 番組ガイド表示時のリモコン操作：

- *[<][>]：視聴（表示）チャンネルの切り換え
- *[決定]：カーソルで選択した番組の録画を予約
- *[黄][青]：カーソルで選択した番組の情報ページ（画面右側）を切り換え
- *[▲][▼]：画面左側のカーソル移動
- *[赤][緑]：画面左側のページを切り換え
- *[戻る]：前の操作に戻る



注意

※各放送番組の番組表を取得／表示できるまでは、時間がかかる場合があります。
（ご購入後すぐの起動時や再スキャンした後の番組表取得は、特に時間がかかる場合があります。）
※番組の中止／変更／延長などによって、実際の放送内容が番組表とは異なる場合があります。

番組ガイドから録画予約する

- ① 「EPG」を押して番組ガイドを表示します。
- ② 「<<」「>>」で録画したいチャンネルに切り換えます。
- ③ 「▲」「▼」「赤」「緑」で録画したい番組にカーソルを合わせます。
- ④ 「決定」を押すと右図のような画面に切り換わります。
- ⑤ 各タグが録画したい事項と一致しているかを確認してから「決定」を押すと録画予約が設定されます。
 - ※録画用スロットに USB メモリー等が挿入されていない場合、
<メモリー設備なし>と表示
 - ※現在視聴中の番組を予約しようすると<予約無効>と表示
- ⑥ 予約が設定されると予約リストが表示されます。
 - ※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」
 - ※番組ガイドに戻る場合は「戻る」



注意

※録画機能をご利用の際は、市販の USB メモリー等が必要です。電気店等で別途ご用意ください。
※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、
本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などはおこなわれません。
このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集をおこなってください。
※本機で録画したデータは他の機器では視聴再生できません。

※録画機能に関する詳細は P23～「録画機能を使う」をご参照ください。

録画機能を使う

本機に搭載されている地デジ録画機能についての説明などをご案内いたします。

番組録画（予約）機能について..... 23

録画用外部メモリーの準備 24～25

番組録画に関する各機能を使う..... 26～28

番組録画（予約）機能について

録画機能をご利用いただく前に、以下をよくお読みになり正しくご理解の上、ご利用ください。

- 本機は＜シングルチューナー＞搭載モデルです。裏番組録画機能（視聴中の番組以外の番組を録画する機能）はありません。
- 本機には録画用ディスク（メモリー）は内蔵されておりません。録画機能をご利用になる場合は、市販品の USB メモリー等を別途ご用意ください。（地デジ録画用スロット：USB メモリー：容量 256GB まで動作確認済／外付け HDD：1TB まで動作確認済）
- 本機搭載の USB スロットで読み込み可能なファイルシステム（ディスク形式）は【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読み込みが可能です。exFAT 形式等には対応しておりません。特に大容量のメモリーや HDD をご使用される場合はファイルシステム形式をご確認いただき、本機非対応形式の場合はパソコンなどで形式変更してからご使用ください。
- 本機に録画用として装着する USB メモリー等は、事前に試し録画をおこない、正常に動作するかお確かめください。
- 本機で録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）として保存されます。
- 録画機能は入力ソースが「DTV（テレビモード）」でのみ利用可能です。録画機能を利用する際は入力ソースを外部入力に変更しないようにご注意ください。特に録画の予約を設定している場合、外部機器を利用中に録画予約を設定した時刻がきても、入力ソースは自動変更されない為、録画機能は実行できません。
- 録画中に入力ソースを外部機器入力に切り換えると、システムが切り換わる為、録画が途中で強制終了します。
- 録画中は、録画中のチャンネル以外の番組への切り換えなどの操作はできません。
- 何らかの理由（主電源が切れた、電波が途切れた、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
- 番組ガイドは約 8 日後まで取得できます。番組ガイドで表示できない先の日付を予約する場合は指定録画で日付指定をしてください。
- 同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
- 本機で録画したデータはその他の再生機器では再生できません。また本機で録画したデータは本機でのみご視聴ください。
- コピー禁止の番組や、外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを記録（録画）することはできません。本機で受信したテレビ放送の番組のみ録画が可能です。
- 著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは絶対におこなわないでください。
- 故障などの理由で本機を修理や交換した場合、以前に記録した録画データは視聴できなくなる場合があります。予めご了承ください。
- 本機で録画した録画データは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しみいただく以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画データを個人または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください
 - ・録画した番組を自分のホームページや SNS などに載せる
 - ・録画した番組をメールなどで他人へ送る
 - ・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
- 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので、自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害などに関して、当社は一切の責任を負いません。



注意

※録画機能をご利用になる場合、録画用として別途市販などの USB メモリーや HDD が必要です。
録画用メモリーが正しく装着されていない場合、録画機能は利用できません。



注意

※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式によっては読み込まない場合があります。
この場合、他メーカーや型式のメディアで読み込み可能かをお確かめください。
※外部メディアについての作動保証およびサポートはおこなっておりません。予めご了承ください。

※録画用メモリーについての詳細は、P24～25「録画用外部メモリーの準備」をご参照ください

録画用外部メモリーの準備

録画機能を使用する場合、市販のUSBメモリーや外付けUSBハードディスクドライブ(HDD)が必要です。量販店や電気店などで別途ご購入のうえ、ご用意ください。

● 別途必要なもの：USBメモリーやHDDなどのデータ記憶装置

※外付けHDDは以下のものを推奨いたします

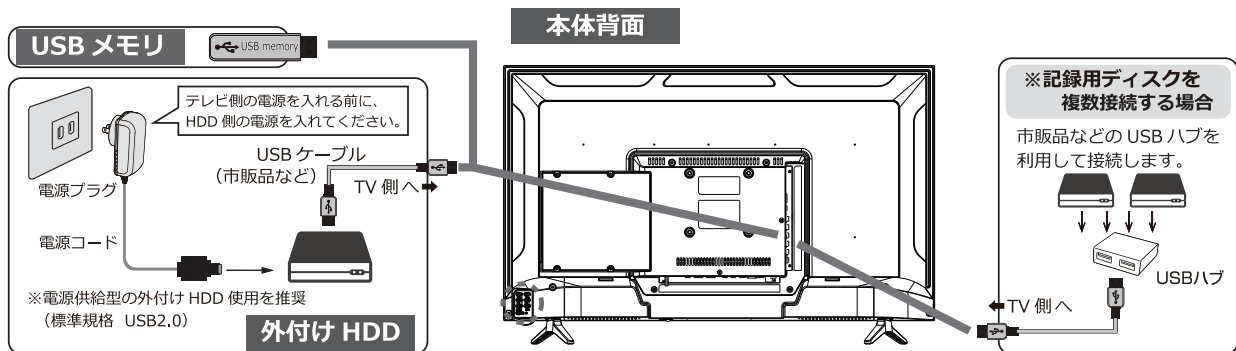
● 電源供給型 ● 標準規格 USB2.0 ● 容量：1TBまで ● 録画専用

<大容量メモリー（32GB以上）をご利用される場合>

- 本機のUSBスロットで認識可能なファイルシステムは【FAT32形式】にフォーマットされたディスクの読み込みが可能です。大容量タイプのメモリーやHDDの場合、購入初期時のファイルシステムがexFAT形式やNTFS形式であることが多い為、ディスク購入後すぐに本機と接続しても正常に認識しない場合があります。この場合は、パソコンなどで、購入されたディスクのファイルシステムをFAT32形式にフォーマットしてから本機と接続してください。（HDDのフォーマット等につきましては各HDD製造メーカー等にお問合せください）

接続のしかた

本体側面の「USBポート」にUSBメモリーやHDDを接続します。



お知らせ

- USBハブを使用することで、同時に2台までのディスクの接続が可能です。
- 外付けHDDをフォーマットする時は、必ずテレビと1対1で接続してください。
- 本機に接続してご使用になるHDDは、容量が1TBまでの製品を推奨しています。



注意

※録画用USB端子に正しく装着してください。

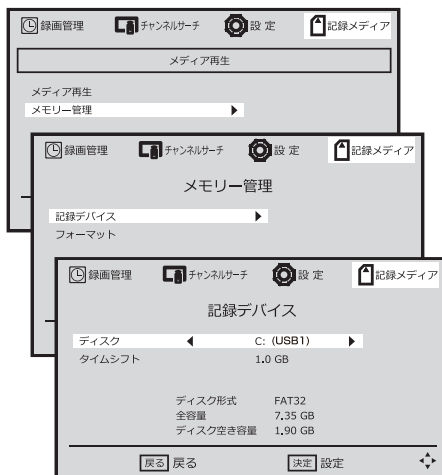
（データ再生用USB端子に装着しても地デジ録画機能は利用できません）

※パソコンなどその他の機器で使用していたUSBメモリー等を本機で使用した場合、保存していたデータなどは消去される場合があります。

※本機で録画保存したデータは他の機器で視聴・再生しないでください。

メディアの状態を確認する

下図のように、装着した録画用メモリーの状態を確認できます。



- ① リモコンの「メニュー」を押して設定メニューを表示します。
- ② 「◀」「▶」で【記録メディア】にカーソルを合わせます。
- ③ 「▲」「▼」で【メモリー管理】にカーソルを合わせて「決定」を押します。
↓（メモリー管理画面に移行）
- ④ 「▲」「▼」でカーソルを【記録デバイス】に合わせて「決定」を押します。
- ⑤ 記録デバイスの状態が表示されます。
- ⑥ 「▲」「▼」「◀」「▶」で各カーソル移動／「決定」で各項目を設定／「戻る」で前の画面に戻ります。

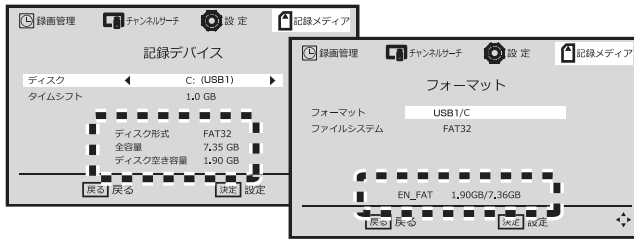
・タイムシフト：タイムシフト機能に割り当てる容量を設定します。

※「正しく録画用メモリーを装着していない」「本機で認識できていない」場合、「メモリーデバイスがありません」と表示されます

録画用外部メモリーの準備

メディアの状態を確認する（続き）

装着した録画用メモリーが正しく認識されない場合、以下の点をご確認ください。



① メモリー管理画面から、
【記録デバイス】または【フォーマット】を選択し、「決定」を押します。

②  枠内の情報を確認してください。

※点線枠内に現在装着中の録画用ディスクの状態が表示されます。

* 本機で読み可能な形式のディスクの場合、＜ディスク形式＞＜ディスク全容量＞＜ディスク空き容量＞が正しく表示されます。

（※FAT16 形式の場合、ディスク形式などは表示されますが、本機では非対応形式の為、使用することはできません）

（※exFAT 形式の場合、＜ディスク形式：NTFS＞＜ディスク全容量：0MB＞＜ディスク空き容量：0MB＞などと表示され正しく認識できず使用できません。）



注意

■ファイルシステム形式にご注意ください。（非対応形式のディスクは読み込みできません）

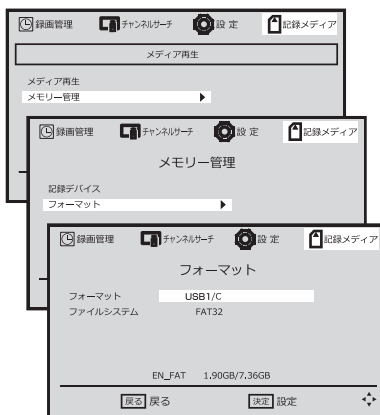
■地デジ録画機能を使用する際はディスク空き容量にご注意ください。

※ディスク空き容量が少ない場合、録画の予約ができません。また予約を設定して予約時間になった状態でディスク空き容量が足りない場合、予約はキャンセルされて録画されません。

※ディスク空き容量が10MB以下になると全ての録画機能が使用できなくなります。この場合は「新しい録画用メモリーを別途ご用意いただく」「装着している録画用メモリーを再度フォーマットする」などしてディスクの空き容量を確保してください。（*フォーマットを実行すると、録画用メモリー内のデータは全て消去されます）

録画用メモリーをフォーマットする

下図のように、録画用メモリーを FAT32 形式にフォーマットします。



- ① リモコンの「メニュー」を押してメニューを表示します。
- ② 「◀」「▶」で【記録メディア】にカーソルを合わせます。
- ③ 「▲」「▼」で【メモリー管理】にカーソルを合わせて「決定」を押します。
↓（メモリー管理画面に移行）
- ④ 「▲」「▼」でカーソルを【フォーマット】に合わせて「決定」を押します。
↓（フォーマット画面に移行）
- ⑤ 「決定」を押すと最終確認が表示されます。
- ⑥ 「決定」で初期化／「戻る」で初期化をキャンセルします。

*「正しく録画用メモリーを装着していない」「本機で認識できていない」場合、
「メモリーデバイスがありません」などのエラーが表示されます



注意

※フォーマットを実行すると、録画用メモリー内に保存していたデータは全て消去されます。録画用メモリー内に必要なデータがある場合、フォーマット実行前にパソコンやその他のメモリーなどに移動・保管してください。

（データ消去等などによる損害などについて弊社は一切その責任を負いません）

※HDD（ハードディスクドライブ）の接続ができなかった場合、お手持ちのパソコンでHDDをフォーマットしてください。

①パソコンにHDDを接続、画面から該当のHDDを右クリック、「フォーマット」→「FAT32」を選択して実行します。

②フォーマットが完了したらパソコンから外して、本機に接続します。

容量と録画時間

本機で地デジ番組を録画する場合の大まかな目安です。

フルセグ 録画	* 番組データ 1 秒あたり約 1.7MB の場合 ≡ 容量 1GB あたり約 10 分間録画可 空き容量 15GB の録画用メモリーを使用すると、合計約 2.5 時間分の番組を録画可
ワンセグ 録画	* 番組データ 1 秒あたり約 0.04MB の場合 ≡ 容量 1GB あたり約 7 時間録画可 空き容量 15GB の録画用メモリーを使用すると、合計約 100 時間（4 日分）の録画可

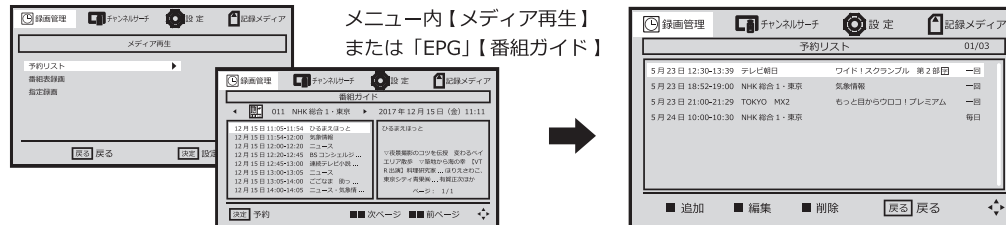
※大まかな目安です。放送番組のデータ量などにより変化しますので予めご了承ください。

番組録画に関する各機能を使う

録画設定の優先順位について

録画機能の作動優先順位は以下の通りです。

- * 「予約録画」とは番組表録画および指定録画で録画の予約を設定したものを指します。録画予約を設定した日時や番組は【予約リスト】から確認や編集ができます。



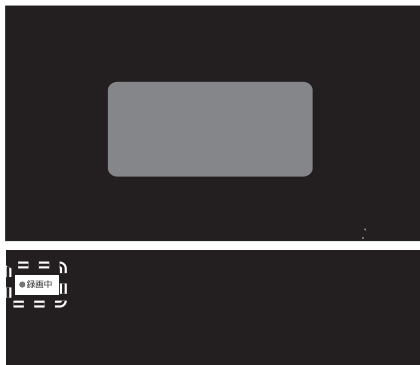
- * 録画予約を設定すると予約の設定が最優先設定となります。予約を設定した日時になると、「ダイレクト録画」で録画中やタイムシフト機能を利用中でも、自動で予約設定したチャンネルに切り換わり録画が始まります。



注意 ※録画用メモリーの容量が足りない場合は録画されませんのでご注意ください。

視聴中の番組を録画する（ダイレクト録画）

現在視聴中のテレビ番組を録画する方法です。



- ① 番組視聴中にリモコンの「録画」ボタンを押します。
 - ② 画面中央に「レコーダー開始中、お待ちください」と表示後、録画が始まります。
 - ③ 録画を停止する場合は、リモコンの「停止」を押します。
- * 録画用メモリーの空き容量が足りない場合、「ディスク容量が満杯です、お待ちください」と表示され録画されません。
 - * 録画中は画面左上に「録画中」と点滅表示されます。

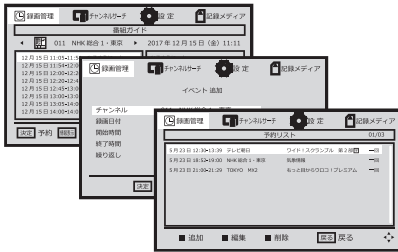
日時を指定して録画予約する（予約録画）



- ① リモコン「メニュー」を押してメニューを表示
- ② 上段カーソルを「◀」「▶」で 録画管理 に合わせ「▲」「▼」で下段カーソルを 指定録画 に移動して「決定」
- ③ 「▲」「▼」「◀」「▶」「数字ボタン」で予約録画したい放送局や日時を設定して「決定」
- ④ イベント追加 画面が表示されたら各項目を確認して「決定」
- ⑤ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。
 - ※予約リストが表示されたら設定を確認して「戻る」
 - ※そのまま別の指定録画設定を行なう場合は「赤」
 - ※リスト上の設定を編集したい場合はカーソルを合わせて「緑」
 - ※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」

番組録画に関する各機能を使う

番組ガイドから録画予約する（予約録画）



- ① リモコン「EPG」で【番組ガイド】を表示させます。
- ② 「▲／▼／◀／▶／赤／黄」で予約したい番組名に移動して「決定」を押します。
- ③ 【イベント追加】画面が表示されたら各項目を確認して「決定」を押します。
- ④ 予約設定が成功すると【予約リスト】が表示されます。



※【メニュー】→【録画管理】→【番組表録画】で、番組ガイドの表示や録画予約も可能です。



注意

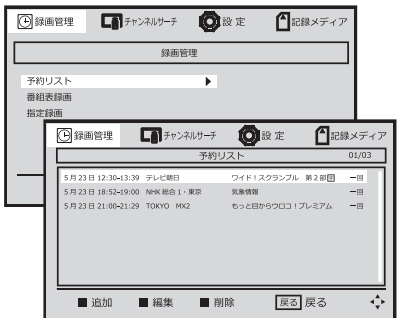
※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などはおこなわれません。
このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集をおこなってください。

(例)

10:00～11:00までの放送局<A>の番組を番組ガイドから予約
→前の放送が急遽10:30まで放送延長になった為、番組は10:30からの繰り下げ放送になった
***本機では予約時に設定した放送局<A>の10:00～11:00の放送が録画がされます**

予約の確認・編集（予約リスト）

予約設定の確認や編集は予約リストからおこないます。



- 予約リストを表示する
 - ①リモコン「EPG」を押す（番組ガイド表示）を押す
 - ②【メニュー】→【録画管理】→【予約リスト】を選択
- 予約リストから確認や編集・削除などをおこないます。
 - *「赤」：リスト外の他の日時指定予約を追加します
 - *「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動します
 - *「緑」：カーソルで選択した予約の設定を編集します
 - *「青」：カーソルで選択した予約の設定を削除します
 - *「戻る」：一つ前の画面に戻ります

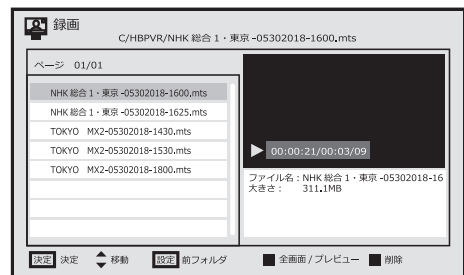
録画したデータの再生・削除

録画したテレビ番組データの再生・削除をします。

- リモコン「録画リスト」を押すと録画したデータのリストが表示されます。
- 録画リストから再生をおこないます。
 - *「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動します
 - *「決定」：カーソルで選択したデータを再生します
 - *「タイムシフト」：再生中データの一時停止／再生をします
 - *「停止」：再生中データを停止します
 - *「◀」「▶」：再生中データの早戻し／早送りをします

再生速度は、ボタンを押すごとに次のように変わります

通常再生→x2→x4→x8→x16→x32



- *「◀◀」「▶▶」：再生中データの前データへ／次データへ移動します
 - *「赤」：画面サイズを切り換えます（全画面表示⇔プレビュー表示）をします
 - *「青」：再生データの再生開始時間を設定します（Go to time 機能※）
 - *「緑」：再生中データの手動コマ送りをします
 - *「設定」：一つ上のフォルダへ移動します
 - *「戻る」：テレビ放送視聴に戻ります
- ※Go to time 機能：録画データのスタート時間を指定して移動する機能です。
(例) 録画時間1時間のデータで、40分10秒後にスタート時間を指定して移動

<録画データを削除する>

■録画リスト内の削除したいデータにカーソルを合わせ「黄」を押します。

※「黄」を押すとデータ左側に☑が付きます

→「決定」を一度押すと削除するか選択画面表示（決定／戻る）

→ 決定を選択して「決定」を押すとデータ削除が実行されます



注意

※一度削除したデータを復元することはできません。

番組録画に関する各機能を使う

タイムシフト機能を使う（便利機能）

＜タイムシフト機能とは ...＞

番組視聴中に「タイムシフト」を一度押すと押したところで放送が一時停止し、停止した場面の続きから録画用メモリーに録画していきます。再度押すと一時停止した場面の続きから違和感なく視聴できる機能です。

【こんな時に便利】 ・好きな番組を視聴中「ちょっと用足しに行かないと」...
・ドラマなどのクライマックスシーンで「宅配便で～す！」...

リモコン「タイムシフト」ボタンを押すと機能がスタートします

タイムシフト機能で使うリモコンボタンは「タイムシフト」「停止」「決定」「戻る」です。

* タイムシフト機能の設定

● 機能で使うメモリー容量の設定：

【メニュー】 → 【記録メディア】 → 【メモリー管理】 → 【記録デバイス】 → 【タイムシフト】
の順に進み、【◀/▶】で0.5GB / 1.0GB / 1.5GB / 2.0GB / 2.5GB / 3.0GB / 3.5GB / 4.0GB から選択します。

■ 番組視聴中に「タイムシフト」を押すと ...



* ＜再生／録画＞ステータスバー



- * トータル時間表示：録画機能スタートから現在までの時間を表示します
- * 一時停止／再生時間表示：機能スタートから何秒（分／時間）後に一時停止したか、または再生しているかを表示します
- * 使用容量表示：設定したメモリー容量の中で、録画で使用中の容量（赤）と再生して空いた容量（青）を表示します
※一時停止状態で放置しておくときで表示されている空き容量がだんだん減っていきます
空き容量が無くなると続きからの放送視聴はできなくなります

■ タイムシフト機能を終了する場合： リモコン「停止」→「決定」で通常のテレビ視聴に戻ります。



注意

※録画用スロットに録画用メモリーが正しく挿入されていない場合や本機が認識できない場合、ディスクの空き容量が少ない（10MB 以下）の場合、録画に関する機能を使用しようとするとエラー表示が出て設定ができません。（＜メモリー設備なし＞ ＜予約無効＞ など）
エラー表示の原因をご確認の上、再度設定を行なってください。



注意

※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読み込み可能かをお試しください。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

※録画用メモリーについての詳細は P24～25 「録画用外部メモリーの準備」をご参照ください。

DVD機能 — 準備

準備

1

リモコンの^{電源}を押して、電源を入れる。

2

リモコンで^{DVD}を押すとDVDモードに切り替わります。

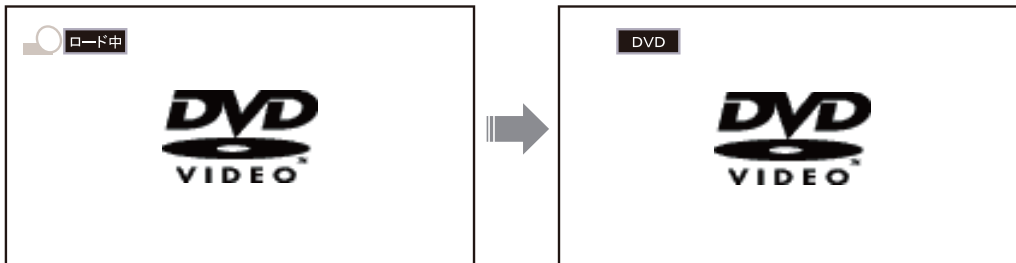
※TV入力切換→DVD→決定でも、DVDモードへの切り換えができます。
※CD・DVDディスクを入れる時、ラベル（印刷面）を裏にして、図のように入れてください。



※CD・DVDソフトの向きに注意してください。
※ディスクの挿入や取り出しは必ずDVDモードで操作してください。

3

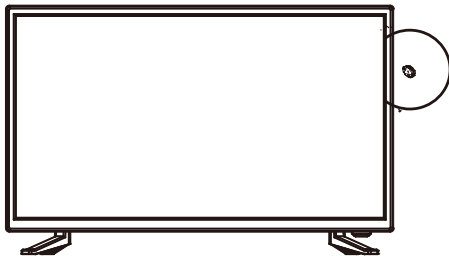
ロード中の表示が出て、ディスクの読み込みが終わると、再生が始まります。



●ディスクによっては自動的に再生がはじまらずに、メニュー画面が表示されるものがあります。
その場合は、ディスクメニューから操作をしてください。

4

ディスクを取り出す時、リモコンの『取り出し』ボタンを押してください。



※注意：

- ディスクの挿入や取り出しは必ずDVDモードで操作してください。
- ディスク挿入口がスロットイン方式（自動吸い込み式）になっているため、ディスクの向きを間違ったり無理矢理押し込んで挿入する、既にディスクが入っている状態でもう1枚ディスクを挿入しようとする、本体やディスクの故障や破損・キズの原因となりますのでご注意ください。

DVD機能 — 再生1

再生の停止

停止



を押すと、再生を停止します。

再生/一時停止



を押すと、停止した時点から再生が始まります。

仮停止中に再度

停止



を押すと、完全に停止します。

取り出し

視聴を終了したら、 ボタンを押して、ディスクを取り出します。

再生中の画面表示

再生中に を押します。

画面上に、経過時間や、残り時間が表示されます。

●ディスクによって、押すたびに表示内容が切り替わります。

早送り・早戻し再生

再生中に を押します。

DVDは画像を見ながら早送り、早戻し再生ができます。音楽CDの場合も同様ですが、この操作中は、音声は出ません。

最初にサーチボタンを押すと、2倍速再生になり、ボタンを押すごとに

2倍速 → 4倍速 → 8倍速 → 20倍速と切り替わります。

スロー再生

再生中に を押します。

スローモーションで再生します。

最初にスロー ボタンを押すと、1/2倍再生になり、ボタンを押すごとに

1/2倍 → 1/3倍 → 1/4倍 → 1/5倍 → 1/6倍 → 1/7倍と切り替わります。

●音声は再生されません。

スキップ

再生中に を押します。

押した回数だけチャプター（CDではトラック）を飛び越して頭だし再生をします。

● で、ひとつ前のチャプターの先頭に移動します。

● で、ひとつ先のチャプターに移動します。

頭出し再生

再生中に ～ ボタンで番号を入力します。

(例) チャプター 5 を選択するときは を押します。

チャプター20を選択するときは を押します。

チャプター35を選択するときは を押します。

※ディスクによっては、機能しない場合があります。

一時停止

再生中に を押します。

再生を一時停止します。

通常の再生に戻るには、再度 を押します。

DVD機能 — 再生2

音声言語の切換

再生中に  を押します。

- 複数の音声を記録したDVDビデオでは、音声の選択ができます。
- ボタンを押すたびに音声の番号、種類、音声言語が表示され、音声を切換えることができます。
- ※この選択は複数の音声データが入っているDVDビデオを再生する場合のみ有効です。
- ※音声の種類および数はディスクにより異なります。
- ※ディスクによってはこの機能は使えません。
- ※ディスクによっては、ディスクメニューで選択する場合もあります。

メニュー操作

再生中または停止中に  を押します。

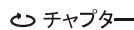
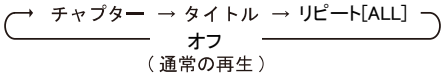
- メニュー画面が表示されます。
- 表示されるメニューはソフトにより異なります。
- もう一度  を押すと視聴していたシーンに戻ります。
- ※ディスクによってはこの機能は使えません。

リピート再生

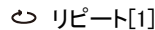
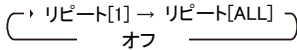
再生中に  を押します。

ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切替わります。

DVD の場合

- 画面の表示 

(通常の再生)
- チャプターリピート：選択したチャプターがリピート再生されます。
- タイトルリピート：選択したタイトルがリピート再生されます。
- リピート[ALL]：ディスクのすべてがリピート再生されます。

CD の場合

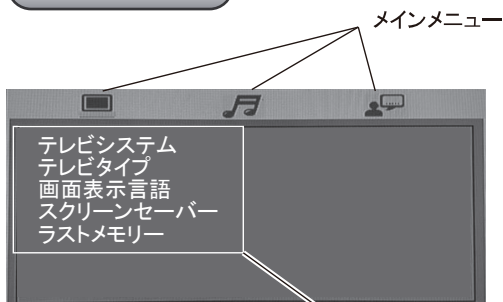
- 画面の表示 

(通常の再生)
- リピート[1]：選択した1トラック(曲)がリピート再生されます。
- リピート[ALL]：ディスクのすべてがリピート再生されます。

DVD機能 — システム設定1

設定メニュー

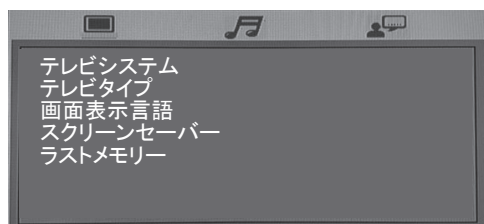
入力信号が『DVD』のときに **設定** を押します。

設定方法



1. リモコンの **左右** でメインメニューを選択します。
選択されたメインメニューのアイコンの下に黄色の線が表示されます。
2. 設定したいサブメニューを **上下** で選択します。
選択された項目は、黒のカーソル、現在の設定が赤の文字で表示されます。
3. **左右** で設定したい項目を選択すると黒のカーソルが表示され、**決定** を押すと設定が変更されます。
4. 設定メニューを終了するには、再度 **設定** を押します。

一般設定



テレビシステム

テレビの映像方式に合わせて設定します。

- NTSC
- PAL
- オート

この設定は、NTSCにしてください。
PALに設定すると、日本国内では、画像が乱れ、正常に再生できません。

テレビタイプ

接続されるテレビのサイズを設定します。

- 4:3 PS : 横縦比 4:3 パンスキャン画面に設定されます。
ワイド画像は映像の左右部分がカットされ見えません。



- 4:3 LB : 横縦比 4:3 レターボックス画面に設定されます。
ワイド画像は全て映りますが上下が黒い画面になります。



- 16:9 : 横縦比 16:9 のワイド画面に設定されます。



画面表示言語

画面に表示される言語を設定します。

- 英語 : 画面に表示される言語が英語になります。
- 日本語 : 画面に表示される言語が日本語になります。

スクリーンセーバー

モニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約5分経過するとDVDロゴを、画面上で動かします。

- オン : この機能が有効になります
- オフ : この機能が無効になります

ラストメモリー

この機能をオンにすると、一旦電源を切っても、続きから再生を始めます。

- オン : この機能が有効になります
- オフ : この機能が無効になります

DVD機能 — システム設定2

音声設定

音声モードを設定します。

- ステレオ
- 左モノラル
- 右モノラル
- 混合モノラル

システム設定

オーディオ言語

音声言語を設定します。

ディスクのメニューで設定した言語が優先されますので、ディスクで設定できる場合はディスクメニューより設定してください。

字幕言語

字幕言語を設定します。

ディスクのメニューで設定した言語が優先されますので、ディスクで設定できる場合はディスクメニューより設定してください。

暗証番号

①～⑨のボタンで『暗証番号』を入力し、「レーティング」設定のロック/ロック解除を行います。工場出荷時の暗証番号は【0000】です。ロック時に新たな暗証番号を設定できます。

レーティング

視聴できるディスクの制限を設定します。

DVDディスクのパッケージ等でご確認ください。

レベル1 KID SAFE(子供向け)

レベル2 G(一般向け)

レベル3 PG

レベル4 PG13

レベル5 PG-R

レベル6 R

レベル7 NC-17

レベル8 ADULT(成人向け)

レベル1～レベル8を選択して  を押すと設定が反映されます。

デフォルト

すべての設定を工場出荷時初期設定に戻します。

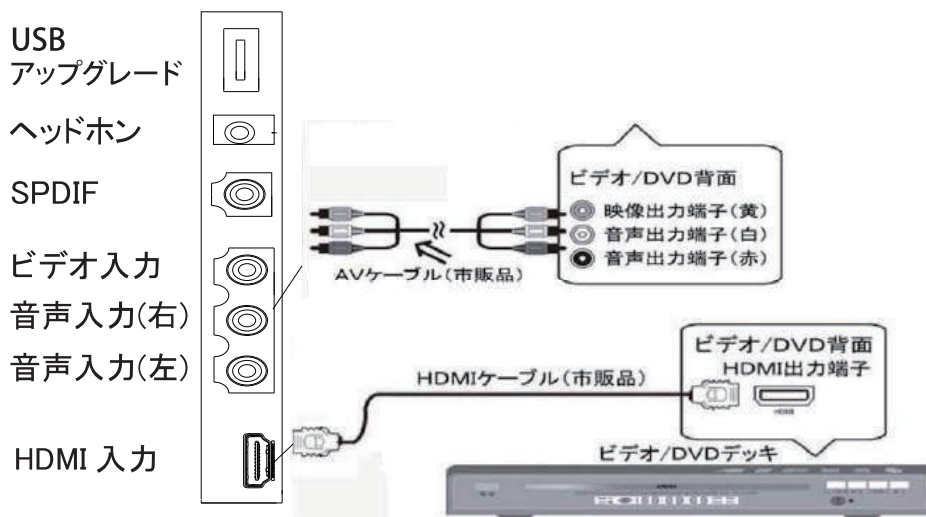
『復元』  を押します。

ビデオやDVDとの接続

接続方法

HDMIケーブルで接続する場合

- 1 本機に市販のHDMIケーブルを接続し、外部機器のHDMI端子に接続する。
- 2 本機と外部機器の電源を入れる。
- 3 リモコンの  を押し、入力切替メニューを表示する。
- 4  で『HDMI』を選び、 を押す。
- 5 外部機器で操作を開始する。

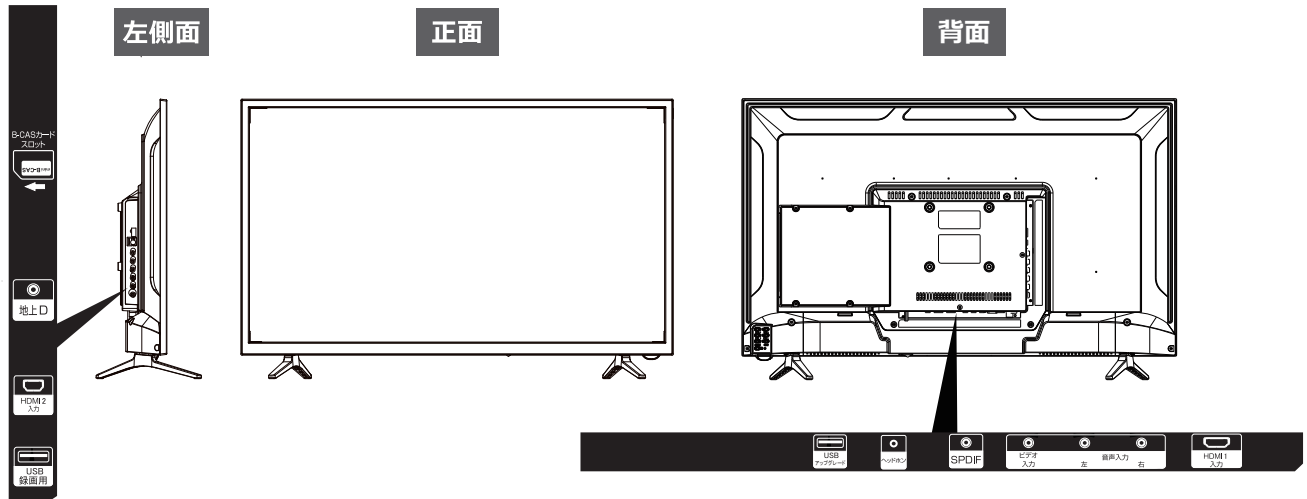


AVケーブルで接続する場合

- 1 本機に市販のAVケーブルを接続し、外部機器の出力端子に接続する。
- 2 本機と外部機器の電源を入れる。
- 3 リモコンの  を押し、入力切替メニューを表示する。
- 4  で『ビデオ』を選び、 を押す。
- 5 外部機器で操作を開始する。

外部機器と接続する

外部機器と接続する場合、本体側面の各端子と接続します。接続したい外部機器に対応した各端子に接続してください。



- miniB-CAS カードスロット：miniB-CAS カードは地デジ放送（フルセグ）を視聴する際に常時挿入が必須のカードです。
（miniB-CAS カードの準備に関してください）
- ビデオ入力用端子：市販の AV ケーブルを使用して外部機器と RCA 接続する際に使用します。
- HDMI 1/2 入力用端子：市販の HDMI ケーブルを使用して外部機器と接続する際に使用します。
（本機への入力専用端子です。本機から外部機器へのデータ出力はできません）
（HDMI ケーブルは付属しておりません。別途電気店などでご用意ください）
- 録画用 USB 端子：テレビ番組の録画機能に関する専用の端子です。こちらのスロットにパソコンなどから取り込んだデータの視聴・再生はできません。
- 外部データ再生用 USB 端子：
市販の外部メモリー（USB メモリーや HDD など）に、パソコンなどから取り込んだ音楽や動画のデータを本機で視聴・再生する際に使用します。
- ヘッドホン出力用端子：イヤホンやスピーカーなどの外部機器と接続する際に使用します。
- SPDIF出力用端子：同軸（どうじく）はデジタル音声出力で、対応機器はデジタルデコード機能付きアンプまたはデジタルオーディオデコーダーです。

故障かな？・・・と思ったら -1

地上デジタル放送関係

このようなときは？	お調べください
①ブロックノイズ(※モザイク状のノイズ)が出る。 ②地上デジタル放送が映らない。 ③映像が動かず、リモコンが効かない。 ④「無信号」表示が出る。	デジタル放送は電波受信状況により①②③のような症状が発生します。その場合は下記項目を確認してください。 ・電源を切ってからアンテナ接続ケーブルがきちんと接続されているかご確認ください。 ・マンションにお住まいの方は地上デジタル放送が受信されているかマンション管理者にご確認ください。 ・アンテナの位置、角度、方向を変えてみてください。ただし、アンテナが屋根に据え付けられている場合には専門家にご相談ください。 ・お住まいの地域が弱電界(電波が弱すぎる)の可能性があります。アンテナの状態をご確認ください。 ・ブースターのレベルを上げすぎると電波が受信できなくなることがあります。 ・B-CASカードがしっかりと挿入されているかご確認ください。 ・チャンネル設定ができていないかご確認ください。 ・ケーブルテレビでの視聴の場合は、設定がケーブル会社により異なります。各ケーブル会社にお問い合わせください。 ・本製品の近くで他の電化製品(電子レンジ、携帯電話など)を作動させると映像や画像が乱れることがあります。 ・地上デジタルメニューの「受信設定」項目の「受信チャンネル設定」で調整してください。
地上デジタル放送視聴時にチャンネルを切替えた時や、番組の変わる時にノイズが出る。	・デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など映像の解像度が変化するとき白い線などが見えますが、これは製品内部で信号の同期を取るために起きるもので故障ではありません。
地上デジタルの放送局マークが表示されない。	・電波の受信状況によっては表示されるまで時間がかかる場合があります。特に弱い電波状況の場合、表示されるまでしばらく時間がかかります。 ・放送局によってはロゴを送信する時間帯が異なる場合があります。 ・電波の弱い地域では放送局のロゴデータを受信できない場合があります。
2ヶ国語放送視聴時に音声がおかしい。	・2ヶ国語放送時、副音声になっていませんか？ 音声切換ボタンを押して切換えてください。

故障かな？・・・と思ったら-2

地上デジタル放送関係

このようなときは…?	お調べください
番組表ボタンを押しても「データがありません」と表示される。	・番組表情報をダウンロードするには約30分ほどかかります。各放送局を一定時間視聴するとその放送局の番組表が表示されます。全チャンネルの番組表を表示できる状態にするには本製品を約30分スタンバイ状態にしておいてください。
字幕や文字スーパーが表示されない。	・「字幕」機能を設定してください。
画面に「B-CASカードを正しく装着してください。」というメッセージが表示される。	・B-CASカードが本体に正しく装着されていないか、抜けかかっている可能性があります。17ページを参照に正しくB-CASカードを装着してください。
同じ放送局内の違うチャンネルに切替わらない。	・地上デジタル放送では一放送局から複数の番組が提供されている場合があります。この放送は時間帯などによって放送している時、していない時があります。視聴する放送局が複数のチャンネルを放送している時間帯かを番組表などで調べてください。 ・数字ボタンでは番組が分かれている場合、代表チャンネルにしか切換えられません。

*本機はマイコンやシステムLSIを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズが入った場合などに誤動作を起こす可能性があります。
正常に作動しなくなったときは、いったん電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、再度コンセントに差し込み、電源を入れてください。

故障かな？・・・と思ったら-3

DVD ディスク/プレーヤー

このようなときは・・・？	お調べください
ディスクが再生できない。	・ディスクにキズが付いていませんか？ ーキズが付いているディスクは再生できないことがあります。 ・ディスクが汚れていませんか？ ーディスクをクリーニングしてください。 ・ディスクが正しくセットされていますか？ ーデータ面を手前になるようにセットしてください。 ・湿気の多い場所で使用していませんか？ ー内部が結露している可能性があります。結露が消えるまでお待ちください。7ページを参照してください。 ・DVD-R/RWディスクの場合、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
映像が乱れる。映像が暗い。	・コピー禁止信号が記録されているディスクを再生した時に正しく映らないことがあります。これは故障ではありません。 ・外部機器を使用される場合、説明書通りの正しい接続方法で接続されていますか？
音声が出ない。音声が歪む。	・一時停止していませんか？ 早送り／早戻し再生をしていませんか？ スロー再生をしていませんか？ ・外部接続している機器が正しく設定されていない可能性があります。 ー接続している機器の取扱説明書をご覧になり、音量／入力方法／スピーカー設定などをご確認ください。 ・電波を発生（電波障害を起こす機器）する機器の近くで使用していませんか？ ・消音モードになっていませんか？ ー消音ボタンを押してください。

製品仕様

型番		16型 HD	
放送メディア	地上デジタル放送	1チューナー	
	BS・110度CSデジタル放送	—	
	CATVパススルー対応	○	
	CATV受信	○	
映像	パネル	TN×LED	
	パネルサイズ	15.6V型	
	画素数(水平×垂直)	1366×768	
	アスペクト比	16:9	
	コントラスト比	500:1	
	視野角	90°×60°	
DVDプレーヤー	対応メディア	DVD/DVD-R/DVD-RW/CD/CD-R/CD-RW	
	対応フォーマット	DVD-Video/CD-DA/JPEG/MP3	
録画	USBハードディスク録画対応	○（※1）	
機能	テレビ番組ガイド	最大8日分表示/番組内容(詳細)機能付	
	オフタイマー/オンタイマー	○/—	
	無線LAN内蔵	—	
端子群	HDMI端子	端子数	2（HDMI ver1.4）
		ARC対応	—
		CEC対応	○
	USB端子(録画用)		1（最大1TBまで）
	ビデオ入力		1
	同軸デジタル音声出力		1
	LAN端子		—
	ヘッドホン端子		○
	音声	スピーカーサイズ	フルレンジ×2個
実用最大出力(JEITA)		6W (3W+3W)	
使用電源		AC100V 50/60Hz	
消費電力		20W	
年間消費電力量		25KWh/年（※2）	
外形寸法	テレビスタンドなし	幅:374mm 高さ:245mm 奥行:40mm	
	テレビスタンド含む	幅:374mm 高さ:274mm 奥行:120mm	
重量	テレビスタンド含む	約1.9kg	

※1 HDDは別売です。すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。

※2 スタンダードモードを標準状態として測定。年間消費電力量とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に準拠し、1日4.5Hの動作時間/1日19.5Hの待機時間で算出した、1年間に使用する電力量です。

※ 製品改善の為、予告なく仕様・機能等変更する場合があります。予めご了承ください。

製品仕様

型番		24型	32型
放送メディア	地上デジタル放送	1チューナー	1チューナー
	BS・110度CSデジタル放送	—	—
	CATVパススルー対応	○	○
	CATV受信	○	○
映像	パネル	VA×LED	VA×LED
	パネルサイズ	23.6V型	31.5V型
	画素数(水平×垂直)	1366×768	1366×768
	アスペクト比	16:9	16:9
	コントラスト比	3000:1	3000:1
	視野角	178°×178°	178°×178°
DVDプレーヤー	対応メディア	DVD/DVD-R/DVD-RW/CD/CD-R/CD-RW	DVD/DVD-R/DVD-RW/CD/CD-R/CD-RW
	対応フォーマット	DVD-Video/CD-DA/JPEG/MP3	DVD-Video/CD-DA/JPEG/MP3
録画	USBハードディスク録画対応	○(※1)	○(※1)
機能	テレビ番組ガイド	最大8日分表示/番組内容(詳細)機能付	最大8日分表示/番組内容(詳細)機能付
	オフタイマー/オンタイマー	○/—	○/—
	無線LAN内蔵	—	—
端子群	HDMI端子	端子数	2(HDMI ver1.4)
		ARC対応	—
		CEC対応	○
	USB端子(録画用)		1(最大1TBまで)
	ビデオ入力		1
	同軸デジタル音声出力		1
	LAN端子		—
	ヘッドホン端子		○
音声	スピーカーサイズ	フルレンジ×2個	フルレンジ×2個
	実用最大出力(JEITA)	6W(3W+3W)	20W(10W+10W)
使用電源		AC100V 50/60Hz	AC100V 50/60Hz
消費電力		30W	41W
年間消費電力量		37KWh/年(※2)	50KWh/年(※2)
外形寸法	テレビスタンドなし	幅:551mm 高さ:328.5mm 奥行:62.9mm	幅:730.5mm 高さ:432.6mm 奥行:78.4mm
	テレビスタンド含む	幅:551mm 高さ:381.1mm 奥行:171.1mm	幅:730.5mm 高さ:471.2mm 奥行:178mm
重量	テレビスタンド含む	約2.65kg	約4.5kg

※1 HDDは別売です。すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。

※2 スタンダードモードを標準状態として測定。年間消費電力量とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に準拠し、1日4.5Hの動作時間/1日19.5Hの待機時間で算出した、1年間に使用する電力量です。

※ 製品改善の為、予告なく仕様・機能等変更する場合があります。予めご了承ください。

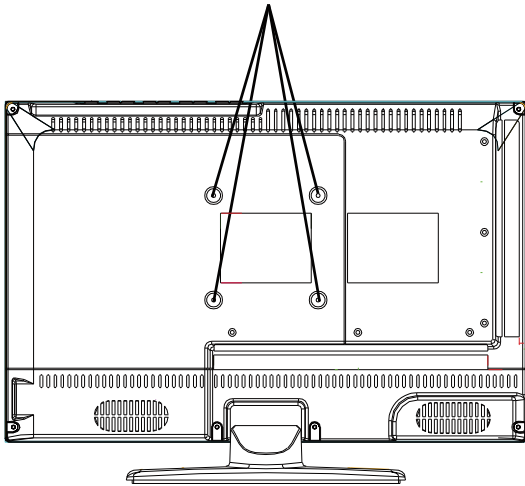
壁掛けでのご使用

※壁掛けでのご使用の場合は、スタンドを外して壁掛け金具に取り付けてください。

※本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

16型

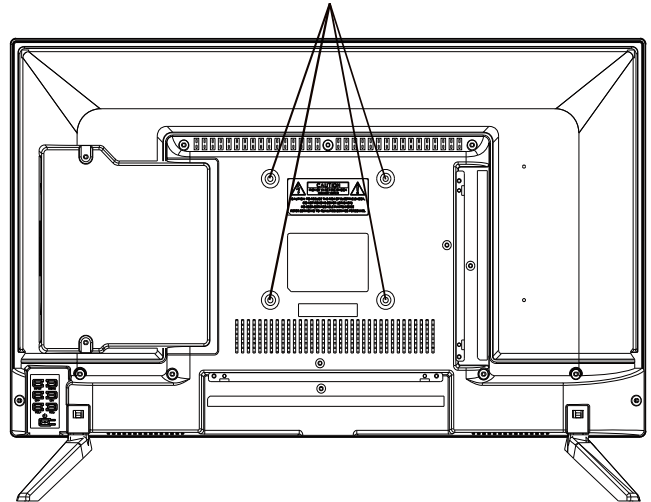
壁掛け金具取り付け用ネジ穴



- ネジ穴寸法は 75mm×75mm です。
- 国際標準規格VESA規格に準拠しています。

24型

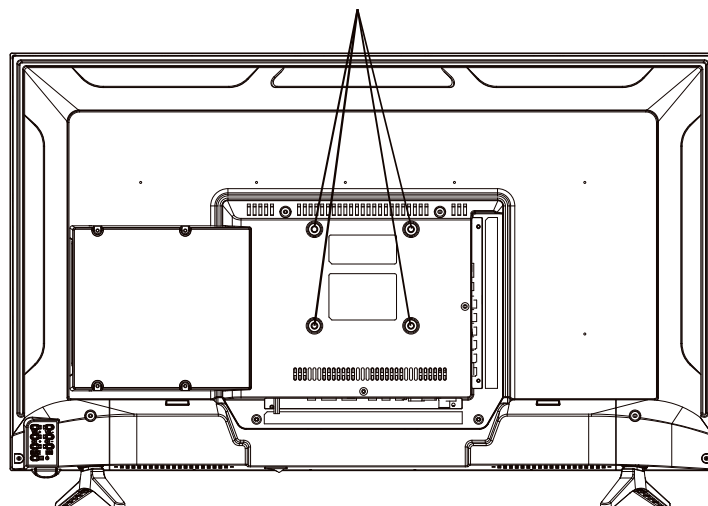
壁掛け金具取り付け用ネジ穴



- ネジ穴寸法は 100mm×100mm です。
- 国際標準規格VESA規格に準拠しています。

32型

壁掛け金具取り付け用ネジ穴



※取り付ける壁の強度に、ご注意ください。



- ネジ穴寸法は 100mm×100mm です。
- 国際標準規格VESA規格に準拠しています。

メモ欄

メモ欄

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書について

- この製品には保証書を別途添付しております。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- ご注意：保証書にご購入日、店舗名等の記載が無い、また記載内容に修正がある場合は保証の対象外となります。
- ご購入から2週間以内の初期不良や自然故障は同等機種にて無償交換対応致しますが、それ以降のメーカー保証内の自然故障に関しましては無償修理にてご対応申し上げます。返品はご対応致しかねますので予めご了承ください。
- ご購入日、ご購入店が不明、保証書の記載が修正されている場合は保証の対象外となります。

使い方や修理のご相談など

- 製品についての使い方や修理についてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店、または下記窓口までお問い合わせください。

お客様サービスセンターのご案内

製品に関するお問い合わせ窓口

株式会社WIS サービスセンター

〒607-8481 京都府京都市山科区北花山中道町109-9

メールコンサルティング

service@dayton-wis.com

※ メールを受信した順にご対応となりますので、
ご返信までお時間を頂く場合がございます。

輸入販売元：株式会社WIS

お問合せフォーム

「ご連絡は下記方法にてお願いいたします」

<http://www.wis-sales.jp/contact.aspx?Fld=n7:7:7>

QRコードを読み取るとお問合せフォームへ簡単にアクセスできます。



ダイヤル

075-582-9696

受付時間 平日午前10時～午後5時

土日祝祭日および弊社指定休業日を除く

※お電話でのお問い合わせは引き続き受け付けておりますが、
メールでのご対応が優先となりますのでご理解ご了承の程宜しく
お願い申し上げます。

廃棄時のご注意

- 小型家電リサイクル法では、市町村及び認定事業者が使用済み小型家電の回収を行うことになっており、回収方法はお住まいの地域によりそれぞれ異なります。
回収方法は、小型家電リサイクル回収ポータルサイトにてご確認ください。